

令和元年度 第2学年 年間カリキュラム表

プログラミング教育との関連

情報活用能力スキル(メディア)

		4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
国語		【たんぼぼ】 読みとったことをもとに、「たんぼぼのひみつ」をまとめ、伝える。	【ことばで絵をつたえよう】 聞き手に分かるように、絵を描く順序に沿って事柄を詳しく話す。	【かんさつしたことを書こう】 植物の様子を観察し、気付いたことを記録する文章を書く。	【まよい犬をさがそう】 集中して話を聞き、大事なことを落とさずにメモに書く。	【タブレット】 メモを元に、条件に合わない犬を捨象する。	【「ありがとう」をつたえよう】 感謝の気持ちを伝えるために、言葉を選び、簡単な手紙に書く。	【ビーバーの大作事】 大事などころに気をつけながら読み、読んで調べたことをまとめる。	【あそびのやくそくを話し合おう】 互いの考えをよく聞いて話題に沿って話し合い、グループの考えをまとめる。	【名人をしようかいしよう】 紹介したいことが伝わるように、書く事柄を整理して書く。	【同じところ、ちがうところ】 同じところと違うところを見つけ、それぞれを整理して文章に書く。	【あなのやくわり】 読み取ったことをもとにして、説明する。	【「おもちゃ教室」をひらこう】 話す事柄を順序立てて、聞き手に分かりやすいように工夫して説明する。
生活	【書画カメラ】 ワークシートを投影し、友達に説明する。	【発見！町へとび出そう】 自分たちが住んでいる町のことを考え、いろいろな場所の探検について、自分たちで計画を立てて実行する。	【生きものといっしょに】 生き物を探したり、観察したりしながら継続的に飼育活動を行い、育つ環境・成長・変化の様子に関心や親しみを持ち、生き物にも生命があることに気付く。	【文字入力】 文字パレットを使って、写真に言葉を添える。	【あそびのたつ人 あつまれ】 学級、異学年の友達とかかわりながら、自分たちで「遊びの広場」を計画する。思考錯誤を重ねながら、遊びに使うものを工夫して作り上げる。	【スフィロロボット】 簡単な動き(円・四角など)	【わたしのすてきが はばたく】 これまでの成長を振り返ることで、自分を支えてくれた人に感謝の気持ちを持ち、3年生に向けて意欲をもつ。						
	【デジタルカメラ】 野菜の生長を撮影し、記録する。	【ぐんぐんそだて！ みんなのやさしい】 野菜の観察を通して、野菜のもつ知恵を見つけたり、自分の成長と重ね合わせたりして、生命の大切さを実感できるようにする。	【ルビィのぼうけん】 ②なぞのヒント れんしゅう 4・5・6	【スクラッチジュニア】 動きに制御を加える (繰り返し・変わる)	【インターネット】 教師の指導のもとでホームページを見る。								
算数	【ひょう・グラフと時計】 簡単な事柄を整理して、表やグラフの形に表したりよんだりする。時間の意味と日・時・分の関係を理解し、時刻や時間を求める。	【長さ】 長さの普遍単位について理解し、ものさしを使って長さを測ったり、直線をかいたりできる。	【かさ】 かさの普遍単位を知り、それを使って測定する。	【ふえたり へったり】 加減の組み合わせられた3要素2段階の問題を数量に着目した考え方で解く。	【かけ算】 かけ算の意味を理解し、かけ算を構成し、九九を唱えたり、それを適用したりできる。	【三角形と四角形】 三角形、四角形を知り、直角、長方形、正方形、直角三角形について理解する。	【ちがいをみて】 違いに着目して、求大・求小の逆思考の問題を解くことができる。						
音楽	【音のたかさがちがいをかんじとろう】 ・ かわるの音あそび ・ かわるのがつしょう		【ひょうしをかんじてリズムをうとう】 ・ おまつりの音楽(音楽づくり)										
図工													
体育													
特別の教科	道徳			【しぜんいのち】 身近な自然に親しみ、自然のもつすばらしさを感じることで、動植物の命を慈しみ、大切にしようとする態度を養う。						【だっこしながら】 生きることのすばらしさに気付くことを通して、かけがえのない生命を大切にしようとする心情をもつ。	【せかいでいちばん大切なもの】 自分の生命は周りの人々にとっても大切なものであることに気付く、かけがえのない生命を大切にしようとする心情をもつ。	【きつねとぶどう】 自分を支えてくれている人の存在や思いに気付く、お世話になっている人々に感謝する心情をもつ。	
特別活動	学活			【やさしいパワーで元気いっぱい】(食育) 栄養教諭の先生から野菜のよさを教えてもらうことにより、育てている野菜により関心をもつ。							【赤ちゃんが生まれる】 おへその役割を知り、自分の誕生を喜んでくれたり、大切に育ててくれたりしたことを知り、感謝の気持ちをもつ。		